

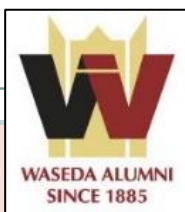
早稲田大学校友会

狭山入間稲門会 会報 第72号

事務局:狭山市稲荷山1-19-36(遠田) TEL:070-8306-5291 2023年11月発行

今号のTOPICS

- ・ 新年会/新入会員歓迎会のご案内
- ・ 稲門祭/早稲田祭参加記
- ・ 活動報告(入間万燈まつり出店/加治丘陵オリエンテーリング)
- ・ あとがき



2023年度新年会

・ 新入会員歓迎会

毎年恒例の「新年会兼新入会員歓迎会」が
下記のとおり実施されます！(担当：西角さん 090-2310-1864)

実施日時 令和6年1月13日(土) 17:15より *Nick's*
会場 レストランニックス(稲荷山公園横 04-2954-9595)
会費 6,000円(会場で徴収、新会員は無料です！)
送迎 希望者には狭山市駅からお迎えのバス・
狭山市駅及び稲荷山公園駅への送りのバスを運行します
以上

【稲門祭】10月22日

稲門祭に実行委員として参加しました。今年のテーマは「心のふるさと早稲田」、当日は好天に恵まれ大盛況でした。酒類提供こそ禁止だったものの、4年ぶりとなる「全面対面開催」で行われました。特にラテンアメリカ協会とチアが出演時の盛り上がりは「鉄板」でした！

担当した「海外企画」ではバンコクとハワイ稲門会をオンラインでつなぎ、移住した校友から現地での稲門会活動や移住の良い点や難しい点、穴場の紹介等をしてもらいました。印象に残っているのはハワイの物価...高校の授業料は年間5百万円、大学では15百万円ほどかかるそうです！高校と大学を卒業させるまでに1人あたり約80百万円かかる計算で、2人となると...。単純比較は出来ませんが、日本の感覚だと驚きますよね。この時は会場がざわつきしました。

恥ずかしながら、実行委員に任命頂いて初めて稲門祭の存在を知りました。個人的には早稲田祭より大人感があって好きです。来年以降も都合が付けば参加したいと思います。現地からは以上となります！(塩田記)

【早稲田祭】11月4日・5日

4年ぶりに制限一切無しで行われた早稲田祭。本年度総会で早稲田祭実行委員の五味さんがPRされたのも記憶に新しいはず。当日、早稲田の街はまさに黒山の人だかり！すれ違うのも大変なくらいの来場者数で、若者の活気と勢いで溢れていました。実行委員会の学生たちが、強い思いをもって運営に携わっている様子が随所に見て取れました。早稲田の学生はすごい！

(文・平)



【青年部活動報告】入間万燈まつりに出店をしました！(報告：出店責任者 山岸さん)

入間万燈まつり4年ぶり2回目の出店となる今年、前回の大成功の記憶を元に出店内容を考えました。ビール・ハイボール・日本酒・ちゃんこ鍋のラインナップはそのままに、少しでも工夫をとということで、ビールは早稲田卒業生がブランド担当した『パーフェクトサントリービール(PSB)』、ハイボールはサイコロを使った2杯買うor 半額 or 無料の『チンチロハイボール』の2大企画で臨みました。結果は…反省点の多いものとなりました。

祭りのメイン通りが変更になったという言い訳はあるものの、客通りから奥まった場所にテントを張っていた事に始まり、主な売上を期待していたPSBは糖質ゼロだった為に味が薄く、『祭りの時ぐらい健康など気にせず美味しいビールが飲みたい』層には敬遠されて売上が伸びず前回の6割止まり。ハイボールは時間経過によって認知度が上がりヘビュユーザーが現れる程でしたが、確率が収束せず無料のお客様が頻出。日本酒に至っては、「都の西北」を販売していた蔵元(竹下元首相の生家)が後継者不在により廃業&身売りしており、そのブランドを引き継いだ蔵元があったものの価格が2倍に。ちゃんこ鍋は半額にした途端に売れ始めるという商売の難しさを痛感させられた2日間となりました。

とはいえメンバーは楽しく商売でき、本来の目的でもあった『在野に埋もれた早稲田OBに稲門会を認知してもらう』という点は達成できたと考えています(1名新規入会！)。打ち上げで飲んだ糖質有りのビールによって『糖質って大事だな』という想いを一つにした青年部一同は、次回の成功に向けて更なる躍進をお約束し、報告に代えさせていただきます。



【活動報告】加治丘陵オリエンテーリング (文：福山玉美さん)

オリエンテーリングというのは、山野で地図と方位磁石を使って、地図上に指定されたいくつかの「ポスト」と呼ばれる目標点を探し、通過し、できるだけ短時間でゴールするという競技です。

10月21日、6年生の孫を誘い遠田さんと3人で、元加治駅スタートの加治丘陵コースを歩いてきました。渡された地図を見たとき「うっ、これは難しい」と思いました。ポストの数は12。目印も無ければ分かりやすい書き入れもない地図です。日頃見慣れた親切な地図とは雲泥の差。私には読めない、さあ困った...でもまあ、遠田さんが何とかしてくれるだろう...

加治丘陵といっても、未知の場所がほとんど。迷ったり、わずかな踏み跡をたどって薄暗い樹林に分け入ったりしたのですが、遠田さんのリードで一つずつクリアしていきました。孫も積極的に地図読みをしてくれ、おかげでポストは全部見つけ、3時間30分かかってゴール。ポストが見つからずに終わる人も多いそうで、良かったです。(私はただ付いて歩いただけですが)

後に聞くと、スマホの歩行計測値は「18000歩、13.3キロ」だったとのこと。そうか、結構歩いたのだな。充実感がさらに大きくなりました。



(写真がポスト。示されているアルファベットを地図に書き入れて、次に進んで行きます。...一種の“宝探し”かなあ...)

遠田さん、お世話になりました。ありがとうございました。それにしても、身近な加治丘陵がこんなに奥深かったなんて、びっくりです。

【あとがき】

稲門祭・入間万燈まつり・早稲田祭と秋はお祭りが目白押しで、会報もお祭り三昧でした。あっという間に年末を迎え、新しい年がもうすぐ目の前です。新入会員を迎えての新年会でお会いしましょう！ (平)